

視察調査・研修会等報告書

令和 5年 7月 20日

下記のとおり報告いたします。

小山市議会議長 篠崎 佳之 様

議員氏名(福田 幸平)



研修・視察年月日	令和 5年 7月12日 ~ 令和 5年 7月14日
研修会場・視察先	佐賀県佐賀市 佐賀市役所、わいわいコンテナ2 福岡県福津市 福津市役所 福岡県福岡市 福岡市役所
研修名・視察目的	佐賀市:わいわいコンテナプロジェクト事業について 福津市:新原・奴山古墳群と近隣自治体との協議会について 福岡市:地域包括ケア情報プラットフォームについて
応対者(説明者)の 役職・氏名等 ※視察調査のみ記載	佐賀市: 経済部 中心市街地振興室長 藤田様、他3名 福津市: 教育委員会 文化財課 世界遺産係長 池ノ上様、他3名 福岡市: 福祉局 総務企画部 政策推進課長 奥田様、他2名
参加議員(同行者)	関 良平、小川 亘、福田 洋一、篠崎 佳之、 福田 幸平、高橋 栄、廣瀬 武蔵
調査概要	・佐賀市:わいわいコンテナプロジェクト事業について 『住む人・来る人を増やす』⇒『住む人・来る人に街を歩かせる』をコンセプトに 街なかの魅力を引き上げる事により、来街者を呼び込み、街なかにおいて強い経済を生み出す『エリアの価値』の向上を目指し、わいわいコンテナプロジェクトを立ち上げた。当初、社会実験として実施をし、現在は第2プロジェクトを実施中。中心市街地の活性化に寄与している。 ・福津市:新原・奴山古墳群と近隣自治体との協議会について 福岡県・宗像市・福津市が沖ノ島・宗像大社・古墳群を世界遺産にするために三社で協議会を設置。無事に世界遺産登録は為されたが、課題も多い。これからも古墳群の重要性や一般の方々への PR 活動が必要。市としては古墳群を活用して、歴史検定や検定合格者によるボランティアガイドの配置、古墳カードの配布、カードを活用した『カードラリー』の実施、古墳巡りに際してタクシークーポンを発行するなど、活用している。

視察調査・研修会等報告書

	・福岡市:地域包括ケア情報プラットフォームについて 国が現在示している『地域包括ケアシステム』が示される前から福岡市ではシステムの構築を必要としていたことから、市独自でシステムを構築。その際に『地域包括ケア情報プラットフォーム』を作成した。ビッグデータを活用したことから、特に直接従事者(主に保健師・介護士など)が利用する事で、関係者の負担軽減やケアサービスの質の向上等が見られ、様々なサービスが一体的に 切れ目なく提供される仕組みを実現した。
市政の課題等に対し どのように参考になるか、 所感等	地域で抱える課題は 地域の大小を問わず共通の課題であり、小山市でも取り入れる事の出来る部分も多く、参考になるところが多かった。 今後の市政運営で今回学んだことを生かして行きたい。

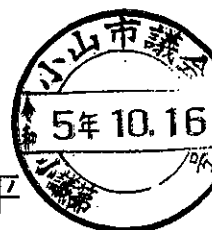
視察調査・研修会等報告書

令和 5年 10月 16日

下記のとおり報告いたします。

小山市議会議員 篠崎 佳之 様

議員氏名(福田 幸平



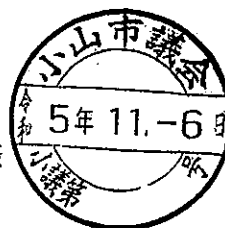
研修・視察年月日	令和 5年10月12日 ~10月13日
研修会場・視察先	福岡県福岡市 博多区博多駅東1-16-14 リファレンス駅東ビル
研修名・視察目的	地方議員研究会 議員活動のための 質問作成特別講座 ・議員活動の基本①② ・議員活動応用編①②
応対者(説明者)の 役職・氏名等 ※視察調査のみ記載	元 枚方市議会 議長 木村 亮太 氏
参加議員(同行者)	なし
調査概要	・議員活動の基本①② 議会発言の意義と効果、質問に対する準備とスケジュール、職員との関わり方 などをご教授いただき、議員の質問への取り組み方、発言の重さ、職員との意見の交わし方などを学んだ。 ・議員活動応用編①② 行使の経験則に基づく質問事例の紹介や質問作成の過程、その後のやり取り、質問の良い例悪い例などをご教授頂いた。
市政の課題等に対し どのように参考になるか、 所感等	議員として、常に初心に還り 他の方法や情報を得るために研修に参加しました。 議員自ら率先してアンテナを高くし、情報を集め質問に臨むことで、執行部も他の議員も納得のいく質問が作成できる事と、質問後のフォローアップ、事業進捗の際の情報提供など 議員の行うべき内容にあらためて振り返ることが出来た。 今後の議会で今回学んだことを反映して行こうと思う。

視察調査・研修会等報告書

令和 5年 11月 6日

下記のとおり報告いたします。

小山市議会議員 篠崎 佳之 様



議員氏名(福田 幸平)

研修・視察年月日	令和 5年 11月 2日
研修会場・視察先	埼玉県さいたま市浦和区岸町 7-5-14 さいたま共済会館 5階 会議室
研修名・視察目的	自治振興セミナー ・地域公共交通、デジタル社会、脱炭素社会
応対者(説明者)の 役職・氏名等 ※視察調査のみ記載	名古屋大学大学院 環境学研究科 教授 加藤博和 氏 サイボウズ株式会社 代表取締役 社長 青野慶久 氏 芝浦工業大学システム理工学部 環境システム学科 教授 磐田朋子氏
参加議員(同行者)	小川 亘
調査概要	・今こそ、地方自治体が地域公共交通を主体的に支えるべき時 これからの地方自治体は、『おでかけウェルカム』な地域でないと生き残れない。今後、地方自治体は何をするべきか。 ・デジタル時代における地方自治体の在り方 地方自治体が注力すべき 3 つの課題について。 ・脱炭素社会に向けた地方自治体の取組 日本は 2050 年を目安にカーボンニュートラル宣言。それを受けて地方自治体ができるべきことについて。
市政の課題等に対し どのように参考になるか、 所感等	今後の地方行政は、人口構造の変化、デジタル化の進行、コロナ感染症等を踏まえた社会と行政の在り方、脱炭素や SDGs 実現に向けた国際的な潮流など、様々な課題に対応しなければならず、政府の対応だけでなく地方自治体においても発案・実行をしてゆく事が必須である。 今後、最新の情報を掴み、迅速な対応をすることが地方自治体に求められる。議員も執行部と共に迅速に対応する事が大切であると感じた。 今後の議員活動・市の施策等で今回学んだことを反映して行きたい。

視察調査・研修会等報告書

令和 5年 11月 20日

下記のとおり報告いたします。

小山市議会議長 篠崎 佳之 様

議員氏名(福田 幸平



研修・視察年月日	令和 5年11月15日 ~ 令和 5年11月17日
研修会場・視察先	愛知県一宮市 尾張一宮駅前ビル「i-ビル」 岐阜県大垣市 大垣市役所 愛知県半田市 ビオぐるファクトリーHANDA
研修名・視察目的	一宮市:尾張一宮駅前ビル「i-ビル」について 大垣市:大垣公園地域活性化拠点形成のための基盤整備調査について 半田市:事業系生ゴミ(厨芥類)リサイクル(バイオガス)施設について
応対者(説明者)の 役職・氏名等 ※視察調査のみ記載	一宮市: 活力創造部 指定管理課 課長補佐 田中様、主事 伊藤様 大垣市: 都市計画部 公園みどり課 課長 辻様、主幹 今津様、主幹・グループリーダー 桑山様 半田市: (株)ビオクラシックス半田 (ビオぐるファクトリーHANDA) サーキュレーション事業本部 本部長 猪飼様
参加議員(同行者)	関 良平、小川 亘、篠崎 佳之、 福田 幸平、高橋 栄、廣瀬 武蔵
調査概要	・一宮市:尾張一宮駅前ビル「i-ビル」について i-ビルは、図書館や子育て支援センターなどで構成する複合施設で、駅構内にあり多目的に利用できるテラスやホールを併設している。移転する前の図書館や子育て支援センターと比較して、駅構内に開館した事により通勤通学時の利用が増え、集客効果も上昇している。 ・大垣市:地域活性化拠点形成のための基盤整備調査について 大垣公園は市の中心部に位置し、大垣城本丸及び二の丸を中心に整備された。現在は芝生広場、遊戯公園、大垣城ホールなどで構成されている。大垣駅から公園までの回遊性を高める目的と、老朽化した大垣城ホールの改修を見越して基盤整備検討調査を行う事となった。 ・半田市:事業系生ゴミ(厨芥類)リサイクル(バイオガス)施設について 畜産業が盛んな半田市の長年の懸案事項であった「牛糞等による畜産臭気」の解消や生ゴミ等の処理問題、近年の環境への配慮等を考慮し、循環型社会の形成を実現するため設立された。バイオマス資源をエネルギーや肥料に変え、地域内循環を実現しようとしている。

視察調査・研修会等報告書

市政の課題等に対し どのように参考になるか、 所感等	小山市と類似した自治体の取組が大変参考になった。小山市でも取り入れる事の出来る部分も多く、参考になるところが多かった。また、地域は違えど抱える問題は酷似しており、昔と違い 民間との協働で政策を実現している例が多かった。 今後の市政運営で今回学んだことを生かして行きたい。
---	---

視察調査・研修会等報告書

令和 6年 1月 12日

下記のとおり報告いたします。

小山市議会議員 篠崎 佳之 様



議員氏名(福田 幸平)

研修・視察年月日	令和 6年1月9日 ~ 令和 6年1月11日
研修会場・視察先	鹿児島県霧島市 霧島市こども館 鹿児島県鹿児島市 天文館図書館 福岡県福岡市 福岡市役所 議会棟 7 階 議会応接室
研修名・視察目的	霧島市:霧島市こども館について 鹿児島市:天文館図書館について 福岡市:LINE を活用した市民への広報について
応対者(説明者)の 役職・氏名等 ※視察調査のみ記載	霧島市: 保健福祉部 子育て支援課 子ども・子育てグループ サブリーダー 種子田様、議会事務局 主査 上野様 鹿児島市: 鹿児島市立図書館 館長 小城様 天文館図書館 館長 松田様、館長補佐 宮ヶ迫様 福岡市: 市長室広報戦略室 広報課長 深澤様、 広報課 広報第 3 係長 松田様、議会事務局 総務秘書課係長 山口様
参加議員(同行者)	関 良平、小川 亘、福田 洋一、篠崎 佳之、 福田 幸平、高橋 栄、廣瀬 武蔵
調査概要	・霧島市:霧島市こども館について 市民利用の少なかった既存施設「国分ハイテク展望台」の利活用と、市民アンケートの意見を取り入れた形で令和3年度に開館された施設。利用料は市内外問わず無料としており、飲食ができるカフェを併設(テナントにて)。隣接する県の施設『縄文の森』と併せた利用を実施している。 ・鹿児島市:天文館図書館について 市の中心市街地活性化事業の一環で再開発された『センテラス天文館』の4階・5階フロアを購入し、複合施設内の公共施設として整備された。一般の図書館のようにすべての分野を蔵書するのではなく、日々の生活に沿った「そだつ」「くらす」「はたらく」「うみだす」の4つのテーマで構成されている。 ・福岡市:LINE を活用した市民への広報について 平成24年に政令市として初めて LINE 公式アカウントを開設した福岡市が、市民一人ひとりが必要な情報だけを受け取れる『One to One(1対1)』の情報提供を目指し、平成29年度から生活密着情報の One to

視察調査・研修会等報告書

	One 配信を開始。当初 4分野(防災・ゴミ・子育て・お知らせ)からスタート、サービス開始から2日間で友達申請10万人を突破。現在は10分野の情報配信やゴミ分別検索、チャットボットによる生活情報への回答などを導入。取組の結果、現在では友達申請数が約187万人となっている。
市政の課題等に対し どのように参考になるか、 所感等	全国自治体で課題となっている子育て・市街地活性化・DX の導入の取組をご教授頂き、大変参考になった。小山市でも参考にした方が良い点やすぐにでも取り組んだ方が良い部分も多かった。どの例も 民間との協働(指定管理者制度や包括連携協定)で政策を実現している例が多かった。 今後の市政運営で今回学んだことを生かして行きたい。

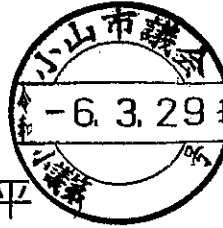
視察調査・研修会等報告書

令和 6年 3月 29日

下記のとおり報告いたします。

小山市議会議員 篠崎 佳之 様

議員氏名(福田 幸平



研修・視察年月日	令和 6年3月27日 ~ 令和 6年3月28日
研修会場・視察先	福岡県福岡市 博多区博多駅東1-16-14 リファレンス駅東ビル
研修名・視察目的	地方議員研究会 福祉政策特別研修 ・認知症基本法解説 『幸齢社会』実現会議 ・健康寿命と平均寿命
応対者(説明者)の 役職・氏名等 ※視察調査のみ記載	医学博士、日本公共経営研究所 代表 元 寝屋川市議会 議長 宮本 正一 氏
参加議員(同行者)	なし
調査概要	・認知症基本法解説 法の条文を解説、令和6年秋に認知症施策推進基本計画の閣議決定がされることに伴い、地方自治体で行わなければならない準備やポイントなどを学んだ。 ・『幸齢社会』実現会議 会議の設置理由と首相が座長を務める意味、政府が考える自治体での対応をどう先読みするかなどを学んだ。 ・健康寿命と平均寿命 未来投資会議で示された方向性に基づいて、自治体がどのような対策を練ればよいかポイントなどを学んだ。
市政の課題等に対し どのように参考になるか、 所感等	議員活動を行ってゆくにあたり、新しい法律に基づいた情報を得るために研修に参加しました。 現在の日本が避けて通れない『超高齢社会』に向けて、政府が懸念する高齢者対策の方向性や有識者が危惧しているポイントと先進事例などを学ぶことが出来た。 今後の議員活動で今回学んだことを反映して行きたい。